

「現代GP」採択は過去最多の106件！

- 千葉大、九州大が各3テーマの複数採択 -

旺文社 教育情報センター 平成19年8月

文部科学省(以下、文科省と略)は先ごろ、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(以下、「現代GP」:GP = Good Practice)の19年度分として、539件の申請に対し106件を採択した。4年目を迎え、各大学にプログラムの趣旨が浸透した模様で、申請・採択件数が過去最高となった。以下その概要を紹介する。

■新テーマに“コンテンツ”“情報コミュニケーション技術”

「現代GP」とは、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題(テーマ)を踏まえた取組を推進し、大学教育改革をはかろうとする大学・短大等に重点的に財政支援を行う事業である。19年度で4年目となり、予算額は51億円(18年度は46億円)。採択件数は、申請の状況等により調整するが、全体として110件程度となっている。

*なお、文中の「現代GP」の申請件数・採択件数には、高等専門学校(単独申請)は含まない。

【募集テーマは6種類】

19年度に設定されたテーマは以下のとおり。18年度のテーマからの変更は、「知的財産関連教育の推進」「ニーズに基づく人材育成を目指したe-Learning Programの開発」に代わり、「知的財産・コンテンツ関連教育の推進」「教育効果向上のためのICT活用教育の推進」となった。

「知的財産・コンテンツ関連教育の推進」は、従来の「知的財産関連教育」の取組に加え、映画や音楽、アニメ、ゲームソフトといったコンテンツの創造・活用に係る人材養成や、コンテンツの保護、流通、活用等のコンテンツビジネスを担う人材の養成等、コンテンツ関連の人材育成に向けた取組を支援するもの。

「教育効果向上のためのICT活用教育の推進」は、e-Learning、インターネット等を活用した(遠隔)授業を推進した教育を対象とするが、インターネットに限ったものではなく、同一教室内で様々な形態で情報メディアを効果的に利用するなど、多様な形態でICTを活用した取組を支援するもの。

*ICT = Information Communication Technology (情報コミュニケーション技術)

募集テーマ

* 支援期間・交付額がテーマごとに異なるため、〔 〕に補助金基準額・財政支援期間を併記。

地域活性化への貢献(地元型)〔1,600万円以内/年、2～3年間〕

地域活性化への貢献(広域型)〔2,400万円以内/年、2～3年間〕

知的財産・コンテンツ関連教育の推進〔1,600万円以内/年、2～3年間〕

持続可能な社会につながる環境教育の推進〔1,800万円以内/年、2～3年間〕

実践的総合キャリア教育の推進〔1,800万円以内/年、2～3年間〕

教育効果向上のためのICT活用教育の推進〔2,400万円以内/年、2～3年間〕

申請は政策課題の重要性やテーマの性質等を考慮し、 のテーマの中から1件、 ~ のテーマの中から2件となっており、1大学単独で最高3件を申請できる。また、複数の大学等が共同で行うものについては、さらに1件申請が可能となっている。

19年度「現代GP」全申請・採択状況一覧

(表1)

区分	地域活性化への貢献 (地元型)		地域活性化への貢献 (広域型)		知的財産・コンテンツ関連教育の推進		接続可能な社会につながる環境教育の推進		実践的総合キャリア教育の推進		教育効果向上のためのICT活用教育の推進		合計		
	大学	短大	大学	短大	大学	短大	大学	短大	大学	短大	大学	短大	大学	短大	
	国立	申請件数 採択件数 採択率	19 3 15.8%	0 0 0	35 8 22.9%	0 0 0	8 3 37.5%	0 0 0	32 5 15.6%	0 0 0	29 6 20.7%	0 0 0	28 7 25.0%	0 0 0	151 32 21.2%
公立	申請件数 採択件数 採択率	10 2 20.0%	6 1 16.7%	9 1 11.1%	2 1 50.0%	0 0 0	1 0 0.0%	0 0 0	4 2 50.0%	0 0 0	16 4 25.0%	1 0 0.0%	6 1 16.7%	1 1 100.0%	46 10 21.7%
私立	申請件数 採択件数 採択率	57 13 22.8%	20 3 15.0%	43 8 18.6%	7 1 14.3%	15 1 6.7%	0 0 0	27 6 22.2%	1 0 0.0%	75 13 17.3%	17 3 17.6%	42 9 21.4%	6 0 0.0%	259 50 19.3%	
小計	申請件数 採択件数 採択率	86 18 20.9%	26 4 15.4%	87 17 19.5%	9 2 22.2%	24 4 16.7%	0 0 0	63 13 20.6%	1 0 0.0%	120 23 19.2%	18 3 16.7%	76 17 22.4%	7 1 14.3%	456 92 20.2%	
共同の取組	申請件数 採択件数 採択率	2 0 0.0%		8 2 25.0%		0 0 0		2 1 50.0%		3 0 0.0%		7 1 14.3%		22 4 18.2%	
合計	申請件数 採択件数 採択率	114 22 19.3%		104 21 20.2%		24 4 16.7%		66 14 21.2%		141 26 18.4%		90 19 21.1%		539 106 19.7%	

(注1) 採択率(%)=採択件数÷申請件数×100
 (注2) 一覧には、高専(高専のみの単独・共同件数)は含まない。

■「現代GP」の申請・採択状況

【申請件数は539件、採択は106件】

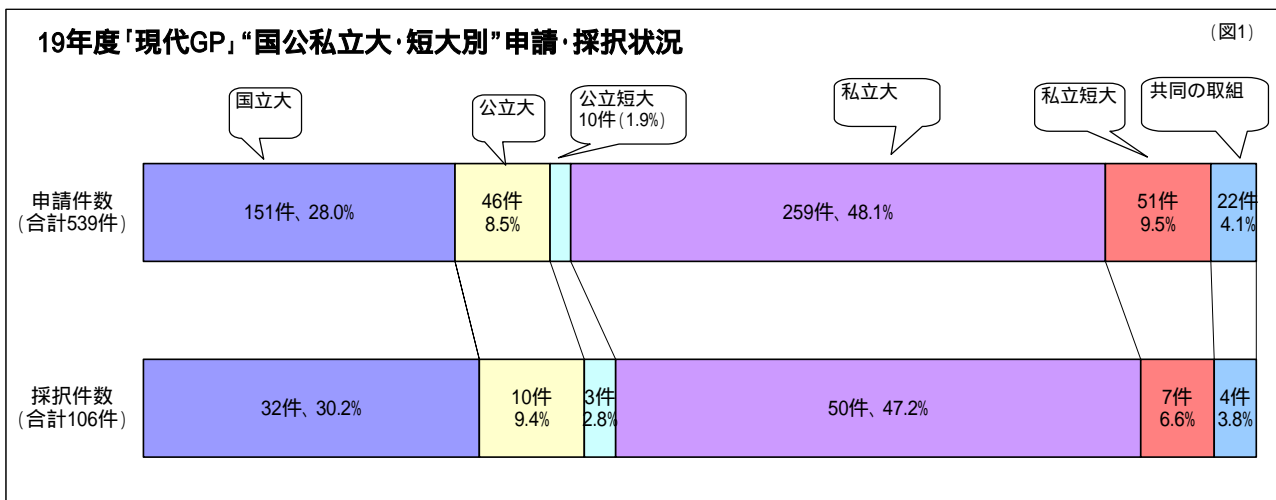
19年度の申請件数は国公立大学・短大を合わせ539件(以下件数ベース。高専を除く)で、18年度より38件(7.6%)増加した。設置者別にみると(図1参照)私立大が259件で最も多く全体の48.1%を占める。以下、国立大151件(全体の28.0%)、私立短大51件(同9.5%)、公立大46件(同8.5%)。

審査は、文科省が設置した「現代的教育ニーズ取組選定委員会」(専門家・有識者等から構成される)により実施された。選定の過程では、面接審査等も実施された。

申請539件のうち、採択されたのは106件、採択率は19.7%で、18年度より8件(8.2%)の増加。内訳は大学(単独申請)が92件(全体の86.8%)、短大の取組が10件(同9.4%)、共同の取組(以下、「共同」と略)が4件(同3.8%)だった(表1参照)。

採択を国公立大・短大別でみると、私立大が50件で最も多く、全体の47.2%を占める。以下、国立大32件(同30.2%)、公立大10件(9.4%)などとなっている。

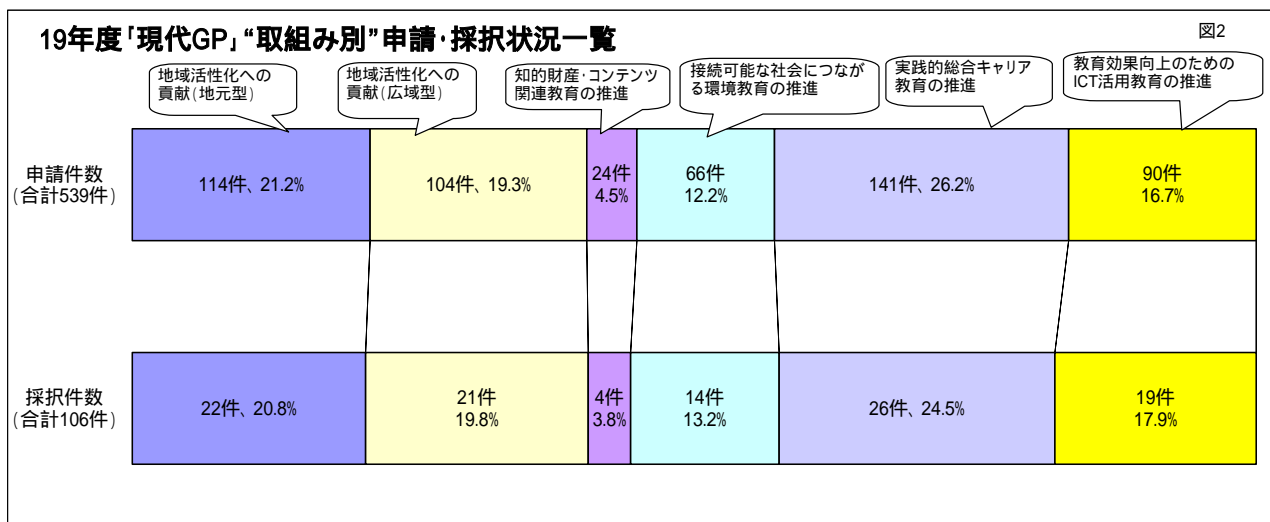
また、エリア別では東京が19大学(19件)、愛知9大学(9件)、大阪8大学(11件)など32都道府県にわたっている。



■「現代GP」のテーマ別申請・採択状況

6つのテーマそれぞれの申請および採択件数は、図2の通り。

若年者雇用が社会的問題となるなかで、キャリア教育を実践する大学が増加したことを反映した模様で、「実践的総合キャリア教育の推進」が申請（全体の26.2%）・採択（同24.5%）ともに最も多い。

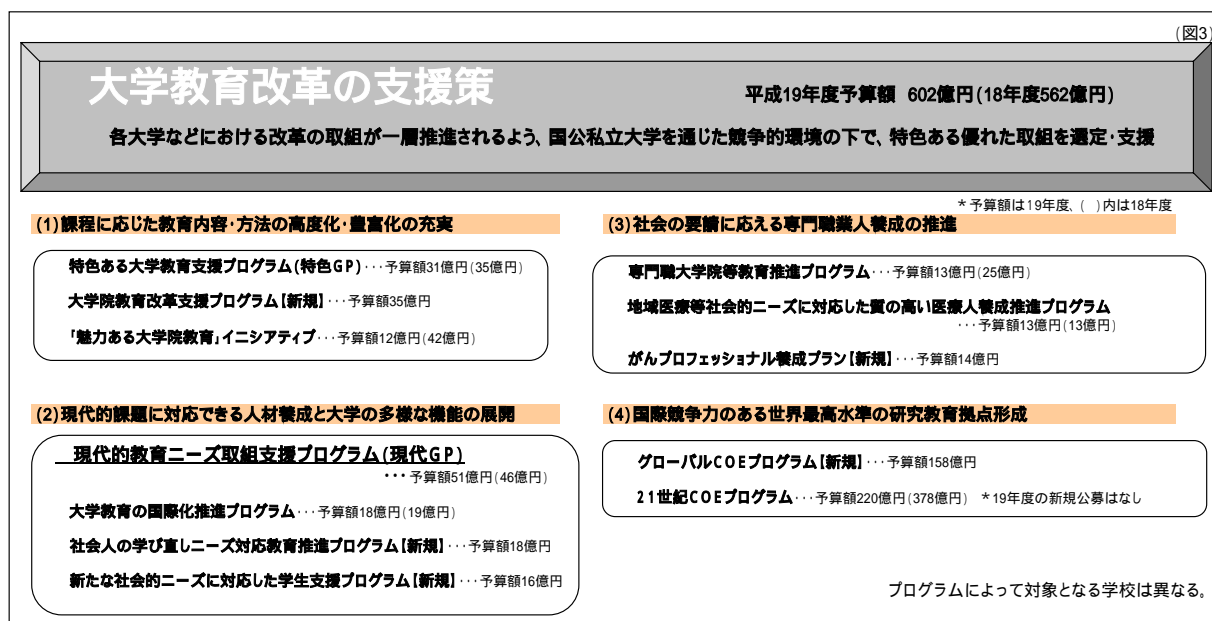


【複数採択は13校】

19年度はテーマによって、複数申請が可能であった。その結果、千葉大、九州大の2校が3テーマで採択された。また、静岡大、大阪大（共同の採択1件を含む）、神戸大、山口県立大、東北福祉大、駿河台大、立命館大、大阪樟蔭女子大、追手門学院大、阪南大、神戸女学院大の11校が2テーマで採択された。

“大学教育改革の支援の充実”を主眼としてスタートしている各種プログラムは多様化しており、さらにプログラムの公募開始から申請まで短期間のため、大学の負担も大きくなっている。一方、こうしたプログラムへの申請・採択が、“大学の特色の発信”“大学に対する評価”につながっている面もある。今後各大学がどのような教育に力を入れてくるのか、各種プログラムへの参加状況に注目したい。

なお、各種プログラムの概要は次の図3の通り。



*「現代GP」の19年度採択校と取組の名称は、次ページからの表2を参照。

テーマ1: <地域活性化への貢献(地元型);採択件数22件>

大学・短大名	設置	取組名称
静岡大	国	静岡市中山間地域における農業活性化 - 「一社一村しずおか運動」に連結する農業環境教育プロジェクト -
奈良女子大	国	古都奈良における生活観光・地域資源を活用した全学的教育プログラム -
広島大	国	子どもの心と学び支援プログラムの展開 - 「にこにこルーム」を核とした学生参加型地域サービスと教員養成 -
下関市立大	公	地域貢献を目的とした共創的学習プログラム - 住民参加型「観光・交流・まちづくり」の実践 -
山口県立大	公	やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開 - 山口市の都市部と田園部におけるワークショップ型授業による団塊世代と若者の定住促進 -
仙台大	私	地域密着型の健康づくり支援システムの構築 - 体育系大学学生を対象とした「健康づくり運動サポーター」の養成 -
駿河台大	私	「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化・「森林文化都市」構築支援プロジェクト -
東京国際大	私	地域連携による不登校予防支援プロジェクト - スチューデント・サポーターによる子どもに優しい地域づくりの推進 -
大東文化大	私	「持続可能な都市再生」の担い手を求めて - 高島平再生プロジェクトによる「環境創造型人材」の育成 -
東洋大	私	ものづくりから学生と地域を育てる共生教育 - 「つくる」をテーマに「持続型共生教育プログラム:川越学」の展開へ -
武蔵工業大	私	ICTによるニュータウンの街作り拠点構築 - web2.0技術の活用による地域情報の集約と地域活動の促進 -
長岡大	私	学生による地域活性化提案プログラム - 政策対応型専門人材の育成 -
名古屋造形芸術大	私	やさしい美術プロジェクト - 病院と美術・デザインの協働による「やすらぎのある、地域に開かれた病院」の創出 -
龍谷大	私	学生力と地域力を相互に高めあう教育実践 - 地域活性化のための基盤をつくる「大津エンパワメント」構想 -
神戸女学院大	私	活力ある地域社会を創る女性リーダーの養成 - 西宮市・同窓会・NPO法人と連携した実践的人づくり -
九州ルーテル学院大	私	熊本発！発達支援者養成プロジェクト - 特別支援教育の専門性を持ち、子育てコミュニティをリードする発達支援者の養成 -
立命館アジア太平洋大	私	学生力を活用した地域への還元教育システム - 地域と学生が一緒に創る、別府・京都観光ルネサンス・プログラム -
鹿児島純心女子大	私	認知症教育を通じた人づくり・町づくり - いのちの尊厳に溢れた、やさしさの網の目づくりを目指して -
福山市立女子短大	公短	無形文化財を活用した教育プログラムの展開 - 広島県福山市の「二上りおどり」を題材にして共生のまちづくりをめざす -
実践女子短大	私短	学生と共に推進する地域食育活動プログラム
大阪薫英女子短大	私短	遊び力を育成する地域貢献型の保育者養成 - 遊びを媒介としたKAORI共育プロジェクトの実践化 -
神戸山手短大	私短	地域・大学インタラクション型の学習事業 - 理論・実践一体型教育プログラム「ACT山手」の構築 -

テーマ2: <地域活性化への貢献(広域型);採択件数21件>

大学・短大名	設置	取組名称
千葉大	国	共生環境デザインによる房総半島活性化支援 - 地域の人たちとともに学び、考え、行動するホームタウンデザイナーの育成 -
富山大	国	出会い・試し・気づき・つなぐ芸術文化教育 - ものに語らせる連鎖型創造授業 -
京都工芸繊維大	国	京都ブランドによる人材育成と地域創成 - 産学官連携による地域ブランド教育プログラムの展開と市民啓発 -
神戸大	国	アートマネジメント教育による都市文化再生 - 阪神地域の文化・芸術復興を目指す教育カリキュラムの開発 -
和歌山大	国	紀ノ川流域をフィールドとする自主演習 - 地域のシニアアドバイザーと学生のコラボレーションによる地域の活性化 -
鳴門教育大	国	遍路文化を活かした地域人間力の育成 - 歩き遍路による「いたわり」情懷教育と遍路地域の「まるごと博物館」構想 -
九州大	国	地域環境・農業活用による大学教育の活性化 - ネットワーク型農学校が大学と地域社会の未来像を創造する -
長崎大	国	PATプログラムによる地域共生力の育成 - 学校発！学生の学びを活かした心の過疎化地域の活性化 -
会津大	公	ベンチャー体験工房「会津IT日新館」 - 地域ニーズに対応したITベンチャー起業家精神育成のための工房型教育 -
東北福祉大	私	地域資源の総合化による子ども教育の展開 - 大学と地域社会との協働による「地域子ども育みプランナー」の育成 -
東京農業大	私	エゾシカから学ぶ環境共生と地域産業の連携 - 「エゾシカ学」による産業クラスター形成の教育創造 -
新潟国際情報大	私	地域の国際化を推進する参加型実践教育 - 「国際交流インストラクター」の養成・派遣による小中学校・高校の国際理解教育推進プログラムの展開 -
新潟青陵大	私	メンタルフレンド活動による地域福祉展開 - ひきこもり不登校児や長期入院児童の教育・福祉・看護への学生参加型トータルケアシステムの開発 -
名古屋学院大	私	「地域創成プログラム」の実践 - 「もの・まちづくり」をテーマとした地域間交流へ -
大阪樟蔭女子大	私	学生による地域協創型子育てモデルの開発 - 女子大学が行う男女共同参画社会における子育て支援モデルの提言とその社会的実践に向けて -
追手門学院大	私	地域と連携した起業家的人材の育成 - 産学連携および実務家支援を取り入れた地域経済の活性化に貢献する起業家的人材の育成 -
関西大	私	農山村集落との交流型定住による故郷づくり - 持続的に「関わり続けるという定住のカチ」による21世紀のふるさとづくり -
鳥根県立大短大部	公短	地域を基盤とする看護教育への変革 - 自主グループ支援ネットワークの構築 -
山梨学院短大	私短	県や栄養士と連携した地域食育推進の取組 - 食育推進ボランティアを通じた学生の食育実践力の育成と地域貢献 -
札幌医科大学	共同	双方向型医療コミュニケーション教育の展開
北海道医療大	共同	- 多職種参加型「メディカルカフェ」の開設による地域医療の向上を目指して -
白梅学園大	共同	アートでつくる障害理解社会の創成
白梅学園短大	共同	- 学生参画による発達障害児支援アートワークショップと親キャラバン隊の取組 -

(注)高専は除く。共同の取組に記載の最初の大学名は、主となる大学を示す。

テーマ3: <知的財産・コンテンツ関連教育の推進;採択件数4件>

大学・短大名	設置	取組名称
筑波大	国	異分野学生の協働によるコンテンツ開発演習 - 異分野学生のMatch Makingによる協働型コンテンツ開発演習プログラム -
山口大	国	教職を目指す学生への実践型知財教育の展開 - 学生による指導案と教材の開発及び検証を通じた知財教育の展開 -
九州大	国	医療コンテンツプロデューサー育成事業
立命館大	私	映像文化の創造を担う実践的教育プログラム - 産官地学国際連携による循環型映像文化の創生 -

テーマ4: <持続可能な社会につながる環境教育の推進;採択件数14件>

大学・短大名	設置	取組名称
北海道教育大	国	持続可能な社会実現への地域融合キャンパス - 東北道発ESDプランナー養成・認証プロジェクト -
東京海洋大	国	水圏環境リテラシー教育推進プログラム
長岡技術科学大	国	GT実践体験を織り込んだ環流型教育の深耕 - 源流(高専・高校・中学)から本流(大学)、河口(院)までの一貫したグリーンテクノロジー(GT)教育 -
神戸大	国	アクション・リサーチ型ESDの開発と推進 - 学部連携によるフィールドを共有した環境教育の創出 -
岡山大	国	晴れの国より巣立つ水環境スペシャリスト - 地域資源「児島湖」をモデルに持続性の高い環境社会の構築を迫る実践型環境教育プログラム -
都留文科大	公	山・里・町をつなぐ実践的環境教育への取組 - フィールド・ミュージアムへようこそ! -
山口県立大	公	持続可能な社会に繋がる人的財産の育成 - 新生活スタートから持続可能な生活基盤づくりを支援する実践的環境・健康教育 -
いわき明星大	私	地域連携による環境エネルギー教育者の養成
上智大	私	グローバル社会における環境リテラシー教育 - 持続可能なグローバル社会の主体形成をめざして -
武蔵野美術大	私	EDS竹デザイン・プロジェクト - 災害復興と自立型経済支援のための造形指導者養成 -
立命館大	私	琵琶湖で学ぶMOTTAINAI共生学 - 文理総合学習と地域連携による環境政策・環境マネジメント人材の育成 -
西日本工業大	私	人を育て技術を拓く環境ESDプログラム - 地域教育ネットワークと地域自然環境を活用した実践的環境共生教育 -
沖縄大	私	美ら沖縄・環境まちづくりリーダー育成事業 - 地域に学び、地域に関われた「見て、体験して、解決する」体験学習 -
富山県立大短大部、 富山県立大	共同	富山型環境リテラシー教育モデルの構築 - 持続可能な社会を支える工学技術者と地球市民の養成 -

テーマ5: <実践的総合キャリア教育の推進;採択件数26件>

大学・短大名	設置	取組名称
千葉大	国	自律した医療組織育成の教育プログラム - 専門職連携能力育成をコアに置いた人材育成 -
お茶の水女子大	国	科学的思考力と表現力で築く「私の履歴書」 - キャリアレポート放送局で育くむ職業意識 -
一橋大	国	同窓会と連携する先駆的キャリア教育モデル - 寄附講義によるコア・プログラム構築とキャリア形成支援活動との有機的連携 -
横浜国立大	国	横浜・協働方式による実践的キャリア教育 - 「キャリアデザインファイル」をつなぎ手としたキャリア・リーダーシップ力育成教育の構築 -
名古屋工業大	国	<啓き・促し・支え>連携キャリア教育 - 工学系学生のための実践的総合キャリア教育 -
奈良教育大	国	職業意識育成プログラムのリメイク - メンタルフレンドとしてのケア参画型キャリア教育の展開 -
秋田県立大	公	大学と地域が育む「ふるさとキャリア」 - 新しい職業教育分野の創成に向けて -
大阪市立大	公	インタラクティブ型キャリア教育方法の確立 - BRCを通じた経営学系(商学部)の専門教育とキャリア教育との融合 -
県立広島大	公	ヘルスサポーターマインドの発達支援 - 心・技のバランスのとれた実践的保健福祉キャリア教育の推進 -
福岡女子大	公	男女共同参画社会をめざすキャリア教育 - 学生のキャリア意識と人間力を高める21世紀高度教養教育への地方公立女子大学の挑戦 -
東北福祉大	私	「社会的視点からの総合キャリア教育 - リエゾン型キャリア教育の構築をめざす。 -
駿河台大	私	地域とゼミによる総合的キャリア教育
東京女子大	私	東京女子大学キャリア・ツリー - リベラル・アーツ教育に基づくキャリア構築支援 -
武蔵野大	私	専任教員によるキャリア教育の実践
中京学院大	私	就労意識の低い学生に対するキャリア教育 - 外とのつながりから自己を振り返り、最初の一步を踏み出すためのキャリア教育 -
愛知大	私	中国関係事業に飛翔する国際人材の涵養 - 「中国現地インターンシップ」を仕上げとするキャリア教育の実践 -
京都光華女子大	私	学生個人を大切にしたいキャリア教育の推進 - 個別対応と個別対応教育による就労意識の喚起・醸成と基本的能力の養成 -
同志社大	私	アクションプラン主導型発見的キャリア教育 - 学生の主体的成長を促す体験型教養教育としての複合的キャリア形成支援プログラム -
大阪樟蔭女子大	私	総合的人間力を育てるサイクルプロジェクト - ジェネリック・スキル教育を用いたキャリア教育開発プログラム -
追手門学院大	私	追大型自主自立キャリア支援モデルの展開 - 全学の動機づけとワン・ツー・ワンの相談対応
阪南大	私	実学指向型総合的キャリアシステムの構築 - キャリアポートを活用した地域社会や企業等との連携協力型人材育成プログラムの展開 -
神戸女学院大	私	女性のライフステージに応じたキャリア教育 - メディア、アート、ホスピタリティ、ボディを副専攻として -
九州共立大	私	生涯キャリア開発型教育システムの構築 - 人的ネットワークを活用したCPS navigationによる生涯キャリア支援 -
昭和女子大短大部	私短	「つながる」生涯学習の実践的キャリア教育 - 専門学習を活かして基礎力・表現力・行動力・持続力を磨く協働体験型プログラム -
名古屋経済大短大部	私短	各種メディアを活用した社会人基礎力の育成 - ワークショップ型ゼミナールの実施と社会人基礎力評価ツールの開発を通して -
鈴峯女子短大	私短	正課と正課外を往還する専門型キャリア教育 - 自らのキャリアを創造する自己教育力を備えた保育者の養成 -

(注)高専は除く。共同の取組に記載の最初の大学名は、主となる大学を示す。

テーマ6: <教育効果向上のためのICT活用教育の推進;採択件数19件>

大学・短大名	設置	取組名称
千葉大	国	統合型英語Online CALLシステム - 社会のニーズに応える英語コミュニケーション能力を養成するための英語Web CALLシステムの開発 -
東京大	国	ICTを活用した新たな教養教育の実現 - アクティブラーニングの深化による国際標準の授業モデル構築 -
東京医科歯科大	国	ICT活用教育と従来型臨床現場実習の連携
岐阜大	国	臨床医学教育を強化向上させるICT - e-Learningで培う医の心と技 -
静岡大	国	技術者の実践対応力育成カリキュラムの開発
大阪大	国	デンタルスキル養成実感シミュレータ学習 - バーチャルリアリティ触力覚デバイスを応用した歯科ハンドスキル・シミュレーショントレーニング -
九州大	国	間違い探しを基盤とする洞察力育成医療教育
高根県立大	公	北東アジアにおける英語使用環境の構築 - ICT活用による新しい英語教育モデルを目指して -
千歳科学技術大	私	理工系学部での学習トレーサビリティ - 理工系知識共有のためのICT教育システムの構築と社会への質保証の取組 -
青山学院大	私	ICT活用教育のFD / SDプログラム - 人材育成の一翼を担うICT活用教育の質向上を実現する研修プログラムの開発と普及 -
慶應義塾大	私	新しいICT導入による授業効果の向上 - Polling PadとiPodを用いた双方向性講義形態の導入による学習効果の向上 -
創価大	私	学生が協調的に作問可能なWBTシステム - ICTを活用した自律的学習の推進 -
金沢工業大	私	専門基礎の充実を図る教育版CRMの導入 - "Customer: 学生"とのリレーション強化による専門基礎教育の実質化 -
愛知学院大	私	アーカイブズ連携型自立学習支援システム - 学部教育から卒業・生涯教育まで -
日本福祉大	私	ブレンデッド学習による学生中心の教育改革 - ICTを活用したエンカレッジ指導モデルの構築 -
阪南大	私	ICTを活用した双方向教育システムの構築 - 情報メディア端末の教育システム「ポータブルHInT」導入による革新的教育法 -
甲南大	私	実践的経営シミュレーション演習プログラム - ビジネス社会に直結した経営学教育のためのICTを活用した教育コンテンツおよび教育システム開発の取組 -
新見公立短大	公短	電子カルテ教育システムによる看護基礎教育 - 個別的・双方向的手法で医療情報と看護を学ぶ教育改善指向型プログラム -
名古屋大、 大阪大	共同	プロジェクト型大学間交流連携ゼミの構築 - 法学部連携によるカリキュラム多様化環境の生成 -

(注) 高専は除く。共同の取組に記載の最初の大学名は、主となる大学を示す。